

平成26年度 標準化会議事業計画

1. 事業の概要

標準化会議は会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。

国内標準化活動では JIS、JASO 及び JSMA 規格の新規及び改正原案作業に取り組む。国際標準化活動では ISO/TC227 ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、日本提案の「皿ばね」等の CD 原案作成作業を推進する。10月にフランスで開催される第10回 ISO/TC227 ばね国際会議に参加し、ISO規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 活動の詳細

2. 1 国内規格関係

2. 1. 1 JIS 規格関係

平成25年4月に ISO16249 Springs-Symbols (ばね記号) が発行されたので、対応する新規 JIS 原案を作成する。並行して「B0103 ばね用語」の改正作業も行う。具体的には、ばね用語の参考欄に ISO 規格で制定された記号を明記する。活動期間は4月～翌年2月までの約1年間。

2. 1. 2 JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会車体・シャシ部会及び要素部会の2つの活動に例年どおり参加する。特に前者の部会の下部組織であるリーフスプリング分科会(新設)では、1年間の予定で「JASO C601 自動車部品-重ね板ばね」の規格改正作業等を進める。

2. 1. 3 JSMA 規格関係

標準化会議の4部会が共に年間1~2規格の改正原案作成作業を行う。昨年度から進めている関連規格の統合化作業、規格と同等な扱いの技術報告書の作成作業なども継続して進める。

2. 2 ISO 規格関係

2. 2. 1 ISO/TC227 ばね関連の国際標準化活動

(1) 第10回 ISO/TC227 国際会議

10月23日及び24日、フランス(開催都市未定)にて開催予定の国際会議に参加し、以下の議案審議をする予定。

- 1) 「皿ばね」の CD 案の審議。日本がプロジェクトリーダー。
- 2) 「重ね板ばね」の DIS 案の審議。中国がプロジェクトリーダー。
- 3) 「ばね用語」及び「ばねのショットピーニング」の5年見直し審議。

2. 2. 2 政府制度の活用

以下の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

(1) 国際標準開発事業

日本提案の「皿ばね」の ISO 規格化を図る。

(2) 国際幹事国際会議派遣事業

2. 2. 1 (1) 項対応。

3. 委員名簿

区分	氏名	所属	役職	部会（正副部会長）
議長	相羽 繁生	株式会社東郷製作所	代表取締役社長	
副議長	榎本 英人	日本発条株式会社	執行役員ばね生産本部副本部長	
副議長	坪井 学	中央発条株式会社	取締役常務執行役員	
副議長	田邊 義和	株式會社トヨシマ	代表取締役社長	
委員	阿久津忠良	日本発条株式会社	技術統括部シニアスペシャリスト	推進委員長、冷間・板
委員	伊澤 佳伸	株式会社東郷製作所	開発主査	冷間・線
委員	高 良昭	株式会社パイオラックス	駆動系部品 SBU 開発 GL	冷間・線
委員	今井 智之	サンコール株式会社	人事・総務部人事課主査	
委員	宮本 正己	東洋発条工業株式会社	石岡工場品質管理部長	冷間・線
委員	千田 義樹	中庸スプリング株式会社	技術部次長	冷間・板
委員	平山 利彦	特殊発条興業株式会社	生産本部伊丹工場参事	冷間・板
委員	村松 達也	中央発条株式会社	ばね技術部主査	機能規格
委員	見倉 正明	中央発条株式会社	営業部主査	機能規格
委員	岡本 智則	株式会社東郷製作所	技術部長	機能規格
委員	加藤 功	一般社団法人日本ばね工業会	国際標準化部長	機能規格
委員	竹内 康晃	中央発条工業株式会社	代表取締役社長	
委員	片平 修一	京浜発条株式会社	代表取締役社長	
委員	今田 勝郎	東海バネ工業株式会社	技術部門技術グループ技師補	熱間
委員	道端 一久	三菱製鋼株式会社	千葉製作所技術部	